

農林水産省 食料産業局長賞

群馬県立安中総合学園高等学校 群馬県安中市(あんなかし)

高校生が取り組む地産地消 ～給食食材供給と食育活動の実践～

組織概要

○代表者 校長 田中 茂

○所在地 群馬県安中市

○構成員 生徒・職員 24名 消費者約5,000名 ○活動開始年 平成20年



表彰理由

- 平成20年より学校農園で地元園児や児童に播種から収穫までを体験してもらう交流活動を開始する。
- 平成22年には、学校における食農・食育活動を推進し、地元生産物を地域に広めたいという願いと、学校給食に地元食材を積極的に使用したいという小中学校の思いが合致し、高校で栽培した野菜を市内小中学校の給食食材として供給する取組みをスタートさせている。
- 学校給食への納入は、安中市と学校側が食材提供の契約を結んで進められている。平成22年に中学校1校から始まった取組みが拡大し、現在は市内小中学校4校と給食センター(9校)に納めている。また、学校給食ぐんまの日(10月)には、市内小中学校全校(18校)に食材供給するまでに拡大した取組みとなっている。
- 高校が提供する農業体験や給食食材は、児童や生徒のみならず学校教員や保護者にも地場農産物をより身近に感じると喜ばれているとともに、教育効果も高いと評価されている。幼児教育から高校までが連携し、地域内で一貫した食農・食育教育や給食食材供給は地域独自性の高い活動として注目される取組みである。

取組内容

1. 学校給食に対する地場農産物の供給

安中市と食材提供の契約を結び、平成22年に1校から開始し、現在は市内小中学校4校と給食センター(9校)に野菜を中心に供給している。年々出荷量は増加し、学校給食ぐんまの日(10月)には、市内小中学校全校(18校)に食材を供給するまでに拡大している。

2. 食農教育・食育の推進

平成20年より園場を持たない幼稚園・小学校に学校農園を開放し、子ども達に播種から収穫までを体験してもらう食農・食育交流活動を進めている。現在は年に幼稚園11回、小学校7回を受け入れている。また、全世代への食育活動として、収穫した野菜の試食会を開催し、近隣高校生や大人の野菜摂取不足の改善にも取り組んでいる。

3. 環境を考慮した有機JAS認証の取得

安全・安心な野菜生産を目指して有機栽培にも取り組み、露地とハウスを含めて5aが有機園場として認証されている。生産した有機野菜は主に学校給食やイベント直売、漬物加工材料として利用している。

4. 6次産業化の取組み(漬物の製造・販売)

有機野菜や規格外野菜の利用推進のため、食品製造販売業(漬物)の許可、群馬県食品自主衛生管理認証制度を取得し、たくあん、白菜キムチなどの漬物類の製造・販売も行っている。漬物は地域の人気商品となり、作り方講習会には定員を超える希望者がある。